ニュースリリース

2026 年 11 月 26 日

# 日本航空の国際線機内販売における
# 「MultiPay オンライン」サービス採用について

当社は、日本航空株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役：鳥取　三津子、以下「JAL」）の国際線機内販売において、当社が提供するオンライン決済サービス「MultiPay オンライン」を活用した WeChat Pay（※1）決済の提供を、2026 年 11 月 9 日より開始しましたので、以下のとおりお知らせいたします。

１．本件の背景

近年、訪日外国人の増加や国際的な人の移動の拡大に伴い、利用者が日常的に利用する決済手段を、日本国内においてもシームレスに利用できる環境の整備が求められています。
特に中国では、QR コード（※2）を活用したモバイル決済が広く利用されており、中国のお客さまへのサービス提供においては、クレジットカードに加えて、日常的に使い慣れた決済手段への対応が重要となっています。

こうしたニーズを踏まえ、このたび JAL の国際線機内販売において、当社の「MultiPay オンライン」を活用した WeChat Pay 決済を導入いただくこととなりました。

２．JAL 国際線機内販売における WeChat Pay 決済について

今回の仕組みでは、当社の「MultiPayオンライン」が発行する決済用QRコードをあらかじめ客室乗務員が使用するタブレット端末に保存しておくことで、機内販売時にお客さまへQRコードを提示します。お客さまは自身のスマートフォンのWeChat PayでQRコードを読み取り、購入金額を入力することで決済を行うことができます。

これにより、機内という通信環境に制約がある場面においても、客室乗務員側で決済の都度オンライン通信を行うことなく、WeChat Payによる決済機会を提供することが可能となります。

また、決済時の通信をお客さまのスマートフォンと当社の決済システムとの間に限定することで、機内で必要となる通信を最小限に抑えた仕組みとしています。

３．「MultiPay オンライン」について

「MultiPay オンライン」は、当社が提供するオンライン決済サービスです。「海外の利用者が、日本のサービスに対して訪日前・訪日後を含めて支払いを行う」といったクロスボーダーな決済ニーズにも対応しています。

これまでにも、海外から日本へ留学する学生等を対象とした学費収納や、訪日外国人が来日前に診療費等を支払う医療インバウンドにおける事前決済などで活用されています。今回、JAL

の機内販売において WeChat Pay 決済に活用されることで、「MultiPay オンライン」の利用領域は、教育・医療に加え、航空・旅行領域へと広がることになります。




４．今後の展開

当社は、「MultiPay オンライン」を単なるオンライン決済手段としてではなく、日本と海外の間で発生するさまざまな決済を支える決済インフラとして展開してまいります。特に、海外からの留学生を受け入れる大学・専門学校等の教育分野、訪日外国人への医療サービスを提供する医療機関等の医療・メディカルツーリズム分野をはじめ、海外利用者との決済が発生する分野への提供を推進してまいります。

当社は今後も、国内外の多様な決済サービスとの連携を通じ、企業・教育機関・医療機関等におけるクロスボーダー決済の利便性向上に貢献してまいります。

※1 WeChat PayはTencent Holdings Limitedの登録商標です。

※2 QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

【関連リンク】

日本航空株式会社 ： https://www.jal.co.jp/jp/ja/inter/service/jalshop/goods_info/261106/

ビリングシステム株式会社 ： https://www.billingsystem.co.jp/

MultiPayオンライン専用サイト ： https://bs-multipay.com/

【本件に関するお問合せ先】

ビリングシステム株式会社 営業本部 アライアンス営業部

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1－2－2 日比谷ダイビル13F

TEL：03-5501-4402

なお、本件によるビリングシステムの業績に与える影響は軽微であります。